

# 女子学生の運動志向についての調査

岸 純 子

## はじめに

最近「生涯体育」,<sup>かい</sup>「皆体育」,「体力づくり」,「健康のみなおし」等の掲文句のもとに,一般市民の運動が盛んになっている。反面,「子供の体育嫌い」,「青少年の運動ばなれ」,「草野球の衰退(為すスポーツから観るスポーツへ)」等の現象も問題視されている。

このような現状において「果たして大学生は?」の疑問をもったのが調査のきっかけであった。女子学生を対象をしぼった理由は「男子よりも動きが鈍く,激しい危険な動きを日常生活の中で要求されずに済む種族」と俗視されて来ている女性が,学生時代にどんな運動志向をしているかを先ずとらえてみたいと思ったところにある。更に,対象を後述の如く教育学部1年生に求めているが,これは「教育者を志望して(他の目的をもつ者もなくはないが)入学して来た者が,人間形成要素の1つである体育・小学校では,専科ではなく級担任教師が指導することになっている体育を「入学当初から自らの中にどのように位置づけているか」を知りたかったからである。

## I 調査目的

このような主題を掲げればあい,研究の視点,角度は多様であろう。本調査においては次の3点にねらいをしぼることにした。

- (1) 運動の好き嫌い傾向
- (2) 運動種目選択傾向とその理由
- (3) 選んだ種目(或いは選ばされた種目)に対する受講感

## II 調査方法

### 1 調 査

前期保健体育実技の種目選択に関する設問を作成し(資料1参照), 下記の対象より回答を求めた。

### 2 対 象

香川大学教育学部1学年女子学生 166名

(この166名は、保健体育実技を受講する女子学生全員に設問用紙を配布、回収し得たものであり、意図的に選んだものではない)

### 3 調査期間

昭和58年10月31日~11月7日

## III 結果・考察

調査目的の項目にそって考察をすすめる前に、回答を寄せてくれた学生(以下“受講生”と通称する)の専攻学科および運動系サークルへの所属状態を紹介しておく。

専攻学科所属状況は表1の通りであり、「体育が好きで、体育に関する知識・技能の研鑽を志向する」ことが判然としている保健体育専攻学生は14名(8.4%)である。

運動系サークル所属状況は表2に見られる。「サークル活動に対する思惑は個々人様々であり、又、好みとする運動に偏りがあるかもしれないが、少なくとも運動が好きで技術の研鑽を志向する」とみなされる者が全体で53名(34.8%)存在する。

### 1 運動の好き嫌い傾向について

運動の好き嫌い傾向(以後“運動好度”と仮称する)は、設問III-1・III-2の結果から考察される〔表3-1(1)・表3-1(2)参照〕。

設問III-1は、「大好き」と「大嫌い」の両極間を5分割し、「好き・嫌いの度合」をとらえようとするものであり、設問III-2は例えば「好き」なら、そ

表1 回答者の専攻学科所属状況

国	22
社	22
数	17
理	9
音	17
美	16
体	14
家	14
英	4
特教	10
教	10
心	9
無記	2
計	166

表2 回答者の運動系サークル所属状況

バスケットボール	4 (2.4%)
ハンドボール	5 (3.0)
バレーボール	5 (3.0)
硬式テニス	7 (4.2)
軟式テニス	3 (1.8)
バドミントン	1 (0.6)
ソフトボール	2 (1.2)
陸上競技	1 (0.6)
水泳	3 (1.8)
剣道	1 (0.6)
弓道	1 (0.6)
合気道	3 (1.8)
シーズンスポーツ	3 (1.8)
庭球同好会	5 (3.0)
クラブに加入していると記しながらクラブ名を記入していない者	14 (8.4)
計	58 (34.8)

表3-1 「運動は好きか？」

運動好度 I	人数
1)*	44 (26.5%)
2)	27 (16.3%)
3)	73 (36.7%)
4)	16 (10.2%)
5)	6 (3.6%)
計	166 (100.0%)

\*設問III-1の回答欄参照

表3-2) 「どんな風に運動を好き(嫌い)か？」

運動好度II		人 数
1)*		36 ( 21.7%)
2)		22 ( 13.3 )
3)		35 ( 21.1 )
4)	イ**	9 ( 5.4 )
	ロ	33 ( 19.9 )
	ハ	3 ( 1.8 )
	ニ	3 ( 1.8 )
	ホ	3 ( 1.8 )
	ヘ	6 ( 3.6 )
	ト	5 ( 3.0 )
	チ	2 ( 1.2 )
	リ	1 ( 0.6 )
無 記		8 ( 4.8 )
計		166 (100.0 )

\*1)~3) 設問III-2の回答欄参照

\*\*4)ーイ…事情があってクラブには入っていないがそれなりの努力をしている。

ーロ…それな、楽しむ同好会があれば入るだろう。今は入っていない。

ーハ…研究室が催す、運動会などがあれば、知っている限り必ず参加する。

ーニ…○○以外の運動はイヤ。○についてならば上手くなりたし、努力もする。しかし、クラブには入っていない。

ーホ…××以外の運動はイヤ、××についてなら、同好会的、楽しみのクラブがあれば入りたい。

ーヘ…マイペースでやれて楽しいものならきらいではない。強制されたり、非難されたりするのはイヤ。

ート…運動オンチ故に手が出ない。

ーチ…大キライ、心底からキライ。

ーリ…みるのは好き。

の「好き方」を引き出すためのものである。従って、1)~3)まで記述されている回答文は一種の例文であり、必ずしも一定の段階を示すものではない。

表3-1)からの考察

- ① 運動好度は、3)に位置づけられる者が最も多く(36.7%)、次いで1), 2), 4), 5)の順で占められている。即ち、「運動が好きか?」と問われた時、「種目や雰囲気によって好きであったり嫌いであったりするので一概には答えられないが、嫌いではない」と答える者が $\frac{1}{2}$ 強、即座に「好き」と答えられる者が $\frac{1}{2}$ 強、そして $\frac{1}{2}$ 弱の者がちょっと考えた後「好きな方だろう」と

答える状態である。

- ② 全くの運動嫌いと思される5)は3.6%「たまに面白いと思うことはなくもないが、好きとはいえない」者が10.2%となっている。

これらの数字をみる上では、「嫌い」に属する者は「好き」に属する者を大きく下まわっているといえる。

しかし、比率は低いとはいえ、13.2%、1割強の者が「嫌い」に属している現象は、何らかの問題を暗示していると考えられ、無視は許されないであろう。

### 表3-②からの考察

- ① 最も著しい傾向は、二桁層と一桁層の差であり、1), 3), 4)一〇, の接近である。

1)は「クラブに入ってまでして技能を磨きたい」層であり、

3)は「オックウ」感に、一種の罪悪感的なものを絡ませながら、運動を志向している層である。

4)一〇は、自身、クラブに属していないが、「互いに楽しみ、人間関係を深めあうグループができるなら入りたい」と願っている層である。

この現象を一〇にまとめて表現するならば、自己研鑽型、グータラ型、享楽型の群雄割拠現象とでもいえようか。

- ② 2)は、「クラブに属しながら、技術研鑽や強くなることへの志向に疑問を抱いている」層である。又、4)一〇が、「クラブに属してはいないが、同好の志と、互いに楽しみながら、人間関係を深めたい」とすることは先述の通りである。この二者は、現在置かれている場は異なっているが、志向するところは同方向と考えてよかろう。この観方が肯定されるならば、1/3強の者が「互いに楽しみながら、人間関係を深めていく運動活動」を志向しているといえる。

- ③ 「無記」は除くとして、(=)~(㉞)までの合計は12%となっている。

(=), (㉞)は、欲求度の差こそあれ、ある一つの種目(自信、経験、親しみ、といったもので条件づけられる)以外は拒否する姿勢の者であり、運動そのものを否定する立場をとっていないにしても、その志向意欲にはある偏

りが見出される。

極少なながら存在する(外)「大きらい, 心底からきらい」, (内)「観るのなら好き」と相俟って, 無視できないものを投げかけている。

2 運動種目選択傾向とその理由

この課題は, 設問 I-1 ~ I-4 から読みとることができる (表 4 ~ 表 6 参照)。

表 4 第 1 志望種目分布状態

T※	23 ( 13.9%)	
Sft	25 ( 15.1 )	
H	8 ( 4.8 )	※
水	19 ( 11.4 )	T ……テニス
陸	8 ( 4.8 )	Sft ……ソフトボール
Bsk	30 ( 18.1 )	H ……ハンドボール
V	53 ( 31.9 )	水 ……水 泳
計	166 (100.0 )	陸 ……陸上競技
		Bsk ……バスケットボール
		V ……バレーボール

表 5 第一希望種目選択の理由

群	選 択 理 由	前期	後期
A*	(1) 実習・将来 (採用試験等) に備えて正しい技術・実力を身につけたい	9	5
	(2) うまくなりたい。正しいフォームや基礎技術を身につけたい		5
	(3) 持久力を身につけたい		2
	(4) 自分のふがいなさを知って発奮		1
	(5) やせる為		2
B	(1) 得意な種目である	5	
	(2) 開講されている種目の中で, これなら何とか無難についていけそう	15	8
	(3) 最も選びたくないものから順に消去していった残った	6	3
	(4) 中・高 (又はこのどちらか) で経験 (クラブ的) があり, 少し技術をのぼそうとして		

C	(2)	前にやったことがあり楽しかった	4	3
	(3)	これまでに経験がなく、興味を感じた（前からあこがれていた）	23	29
D	(1)	経験はあるが、普段する機会が少ない。授業の中だけでも充分にしてみたい	2	1
	(2)	最もポピュラーであり、ルールもよく知っており、気軽に行える	33	12
	(3)	できるだけ多種の運動を経験したい		5
E	(1)	精一杯汗をかく快感を味わいたい	1	
	(2)	戸外で走りまわるのが気持ちが良い		1
	(3)	室内競技だから、天候に関わらず行える	1	
	(4)	夏涼しく（冬暖かく）行うのに適している	3	6
	(5)	室内で行うから陽にやけない（冬寒くない）	2	2
	(6)	あまりハードでなく、楽に行えるだろう	5	11
	(7)	専攻上、つき指の危険性のないもの	1	1
	(8)	汚れる危険性が少ない	1	1
F	(1)	好き、やりたい	58	49
	(2)	楽しそう（おもしろくやれそう）	17	20
	(3)	チームプレーの楽しさ（友達と組んでする楽しさ）	4	
	(4)	かっこよい	3	5
	(5)	流行		2
	(6)	友達と一緒に（先輩、友達と相談して）	6	8
	(7)	指導教官がよさそう（やさしそう、面白そう、関心がある）	4	15
G	(1)	一番不本意な種目をとらされる結果をさけて、応募者の少ない所を	4	5
	(2)	どれも苦手なので、どれでもよかったなりゆきで	1	2
	(3)	なんとなく（理由らしいものもなく）	2	3
	(4)	無記	1	2
		計		

\*群記号については、本文中に説明。

表6 第1志望種目とその選択理由

選択*理由	A					B			C			D			E		
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
バレーボール		1 (3.2)				1 (3.2)	9 (29.1)	1 (3.2)	15 (48.4)	1 (3.2)	2 (6.5)		4 (12.9)				1 (3.2)
バスケットボール						1 (3.6)		1 (3.6)	8 (8.8)		1 (3.6)						1 (3.6)
陸上競技						1 (5.9)	2 (11.8)	1 (5.9)				2 (11.8)	1 (5.9)				
水泳	7 (31.8)					2 (9.1)	1 (4.5)	1 (4.5)									
ハンドボール						1 (4.8)	1 (4.8)						2 (9.5)				
ソフトボール						1 (4.8)	1 (4.8)			3 (14.3)	5 (23.8)						
テニス		3 (11.5)				1 (3.8)	1 (3.8)	3 (11.5)			11 (42.3)						
計	7 (4.2)	4 (2.4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (3.0)	15 (9.0)	6 (3.6)	24 (14.5)	4 (2.4)	23 (13.9)	1 (0.6)	4 (2.4)	0 (0)	1 (0.6)	0 (0)	1 (0.6)

  

選択*理由	E					F							G				計
	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(1)	(2)	(3)	(4)	
バレーボール		2 (6.5)	2 (6.5)			28 (90.3)	4 (12.9)	3 (9.7)			2 (6.5)		1 (3.2)			1 (3.2)	78
バスケットボール			1 (3.6)		1 (3.6)	16 (57.1)	5 (17.9)				1 (3.6)						34
陸上競技						1 (5.9)											8
水泳	3 (13.6)					9 (40.9)	1 (4.5)				1 (4.5)						25
ハンドボール						1 (4.8)	1 (4.8)					3 (14.3)			1 (4.8)		9
ソフトボール			2 (9.5)			7 (33.3)	5 (23.8)				1 (4.8)	1 (4.8)			1 (4.8)		27
テニス						1 (3.8)	2 (7.7)		3 (11.5)								25
計	3 (1.8)	2 (1.2)	5 (3.0)	0 (0)	1 (0.6)	63 (38.0)	18 (10.8)	3 (1.8)	3 (1.8)	0 (0)	5 (3.0)	4 (2.4)	1 (0.6)	0 (0)	2 (1.2)	1 (0.6)	

\*表5参照

表4よりの考察

表4は、各種目がどの程度第1志望として選ばれるか、換言すればどの種目に人気があるかをみるものである。

バレーボールが群をぬいて人気があり(3割強)、バスケットボール、ソフトボール、テニスが同じくらいの差を以って順位づけられている(2割弱~1割強)。ハンドボールと陸上競技が最も不人気(5分にも満たない)である。

表5よりの考察

表5は、第1志望種目選択の理由として記述されたものを、大体同類と思われる群にまとめながら列記したものである。

A群…何らかの目的意識があって

B群…自己の実力を考慮して

C群…経験に左右されて



D群…「なじみの有無」の感覚から

E群…「快適性」・「安全性」の意識が働いて

F群…ムード的情感を先行させて

G群…「どうでもよい」的な気分に支配されながら

“大体同類”とみなす基準は上記の如くである。但し、回答は自由記述であるので、理由は個人一つ、ではない。例えばある者がA-1(1), D-1(1), F-1(1)を選択理由として挙げている、ことの方が普通である。従って、この表から考察されるものは、「どういう事柄が、限られた開講種目の中から運動を選ばねばならない受講生を動かす理由となるのか」のある傾向に止まる。なお表中「後期」と記した欄は、「後期の種目選択に当たって、前期と何らかの変化が認められるか」を探ろうとした設問II-4によるものである。この変化についての考察は今回は省くことにする。

- ◎ 種目選択理由として集中しているものは、F-1(1)「好き、やりたい」、D-1(2)「ポピュラーである、ルールもよく知っている」、C-1(3)「経験が無いので興味を感じた」、B-1(2)「これなら無難でついていけそうである」等である。
- ◎ F-1(1)「好き・やりたい」に選択理由が集中する傾向は、運動好度1)~3)の者の割合からもうなずけることである。何の理論づけもなく単純に「好きだから行う」というのが、スポーツする本来の姿なのかも知れない。
- ◎ D-1(2)「ポピュラー、ルールをよく知っている」の理由は、新しいのを始める事への抵抗感がのぞいている。この理由は、F-1(1)「好き、やりたい」とダブって記述されているものが多かった。
- ◎ C-1(3)「経験が無いので興味を感じた」の理由は、好奇心と意欲を示しているといえよう。
- ◎ 「これなら無難についていけそう」B-1(2)、はB-1(3)「消極性の結果」のG群「どれでも同じだ」的態度と共に、やや疑問を残す意識であろう。この他、少数発言をも含めて、全般的にうけとめられることは「あまりシンドイ思いをせずに快適な運動活動をしたい」という態度である。やや消極的とはいえなくもないが、運動に対する志向が後向きでないところが、現代の

一般学生の特性ともいえるのであろう。

### 3 選んだ(或いは抽選の結果選ばされた)種目に関して、前期終了後の受講感

この点に関しては、種目の特性、天候、指導教官の性格及び指導方針によって影響をうけるところが大きい。よって各種目に記述された内容を列記してみた(内容が全く同じばあいは、数字で重複を示すが、他はほとんど原文のまま記載した)。

なお表の最右欄に「○, ×, △」が、又文中に「=, -, …」が付帯してある。「○, ×」は「満足—不満, 肯定—否定, 快—不快…」等の感情のどちらかで受講感が満たされているかであり、「△」はそれ以外の受講姿勢である。「=, -, …」は「快—不快, 肯定—否定…等の理由や裏付けとなるものが文中に表現されていると思われる部分である。

以下、受講生達がどのような姿勢で「運動活動」に身を置いていたか考察してみよう。

[バレーボール]

「○」の主な内容は「楽しかった, 面白かった」である。この楽しさ, 面白さは「試合が多く, トレーニングや基礎練習が少ない」・「試合と基礎練習の割合が適度」のように, 試合と基礎的運動の割合(特に試合が多い方)によっている。「楽しい, 面白い」と感じていた者14名中7名がこの内容に触れ, 且つ「×」の「つまらない」と感じていた11名の中6名が「試合が少なくて基礎練習が多すぎる, 同じことばかりする, 試合は楽しかったけれど…」と, 試合と基礎練習に関する事柄をあげており, 試合と基礎練習の割合が受講生の「○, ×」的感情にかなりの領域を占めること, そして「試合が多く, 基礎的練習が少なく」が「○」的感情と強く結びついていることを示している。

「他の研究室の人と一緒にやれてよかった」, 「経験者として男子の居たのがよかった」, 「友人もふえた」等の「○」的感情をグルーピングや対人関係に対して抱く者がある反面, 「知らない人と組むので呼吸が合わない」, 「皆の気がのらない」, 「仲の良い友達が居ない」の「×」的感情をもつ者も居る。

表7-1) [バレーボール]

第一希望種目	バレー ボール	
<u>試合が多くて楽しかったが</u> もう少し <u>基礎に力</u> を入れてほしい 多人数なので困難かも知れないが	1	○×
<u>基礎練習も試合も適度</u> にあってよかった( <u>楽しかった</u> )	3	○
(怪我で殆んど見学、つまらなかった羨しかった)見学している所では、 <u>ゲームと基礎の割合が程</u> よかったのではないが	1	○
<u>基礎練習はまあまあ</u> 。試合は <u>楽しかった</u> 。しかも大して <u>運動した</u> ような気がしなかつた。	1	○×
<u>基礎練習が多くて試合が少い</u> のが残念。しかし <u>基礎力がない</u> ので思うように動けない、 <u>まじめにしてあげ</u> ばよかった。	1	×△
<u>試合は楽しかったが基礎練習が多すぎる</u> 。もっと <u>試合数をふや</u> してほしい。	3	○×
<u>試合より基礎練習が多くてイライラ</u> した。その割に皆技術は上達してはいないのだ。	1	×
<u>時間中ずっとボールにさわ</u> れていたのは、 <u>基礎のある者にはよ</u> かった。	1	○
<u>試合数も多くてよい</u> 。 <u>経験者として</u> 、 <u>男子が居</u> たのもよかった。	1	○
<u>同じことばかり毎回</u> するので少しつまらなかったが、 <u>試合になると他の研究室の人と一緒にや</u> れて楽しかった。	1	○×
はじめは楽しかったが <u>ハードでいつも同じことばかり</u> するのがつまらなくなつた。 <u>知らない人とチームを組む</u> ので呼吸もあわなくてつまらない	2	×
はじめはよかったが途中から <u>基礎練習が大儀</u> になった。 <u>1回しか休講</u> がなかったのも不満。思った程 <u>楽しくな</u> かつた。	1	×
大学の体育の時間にしては、 <u>わりと平凡でまじめな授業</u> だったけれど <u>楽し</u> かつた。	1	○
<u>トレーニング的なこと</u> がないのでうれしかった。 <u>先生はまじめで冗談</u> 口	1	○
<u>1つきかない人</u> であった。 <u>楽し</u> かつたが、 <u>みんなの気が</u> のらなくていつもボールの見合い、 <u>満足感</u>	1	○×
に欠ける。 <u>運動後の充実感</u> はあったけれど。 <u>授業内容</u> は面白かつた。自分がやること <u>全てうまくい</u> かないのではずか	1	○△
しかつた。 <u>楽し</u> かつた。 <u>友達もふえて</u> よかった。まだ下手だけど。	1	○△
<u>第一希望</u> だったので楽しかつた。今は下手だがもう少し上手になりたい	1	○△
仲の良い友達が居ないのでつまらなかった。 <u>時間いっぱい</u> するのでしん	1	×
どい		
<u>時間いっぱいバレーボール</u> をしたのでしんどい、休憩がほしい。	2	×
<u>楽し</u> かつた。	5	○
思っていたよりつまらなかった。	1	×
計	31	

「時間一杯するのしんどい」、「休講が1回しかない」、「大学の授業にしては平凡でまじめ」の反応は、「大学の授業」に特定のイメージを描き、その期待が裏切られた故の不満であろうか。

以上の諸反応を総合すると、「バレーボールをする」という事自体は決して嫌いではなく事実「楽しんで」行っていた者が多い。しかし「試合を多くと望む者」が多い事、「時間一杯行うことに不満を抱く者」、「新しく生じた人間関係に拒否感を以て臨む者」の存在は、受講生達が、この場を「遊びの場」として、又「楽しませてくれる」場として期待する姿勢が推考される。が反面「まじめにしておけばよかった」、「楽しかったが自分がやるとうまくいかないのではずかしい」、「今は下手だけど、もう少し上手になりたい」、「もう少し基礎に力を入れてほしい」等の発言は「何らかの上達を望む」姿勢の皆無でない事も示している。

[バスケットボール]

ここでは「×」に該当するものが殆どない。わずかに「好きで選んだ種目なので苦はなかったが、かなりハードだったし、時間一杯するのでイライラした」、「楽しかったが少しえらかった」、「えらかった」の3名が強いてとりあげれば「×」的反応となるのみである。

「楽しかった、面白かった」が「○」反応の主軸となっている事はバレーボールと同様であるが「充実感」、「100分間汗を流す快さにはかえられない」、「練習も試合も楽しい」、「班ごとに協力してやった時の感動」、「私達のチームは強い…」等、活動内容、集団意識に関する満足感の表現が目立つ。

更に、「うまくならなかったが、それなりに努力した」、「もっとうまくなりたかった」、「上手になる為、内容もしっかり聴いていた」等の向上意識、又「文句なし、大満足」、「バスケットはいい!」、「バスケットは青春を感じる」、「運動したなあ!」の語にも表現された「全面的肯定」の感情が回答全体から汲みとられる。教師のていねいな説明も、厳しさも、殆ど肯定的態度で受けとめられている。

暑い夏季にかかることが判明の前期に、ムシ暑い体育館の中で激しい運動が要求されることもわかっているバスケットボールを、第1志望として選んだ受

表 7-1(2) [バスケットボール]

(発言者数)

発言内容	第一希望種目	バスケット ボ ー ル	快-不快・十	評
○授業はトレーニングもゲームもあって充実していた。少しえらくてゆううつな時もあったが、結局は楽しかった。		1	○	
○時間いっぱいやるし、ハードだったけれど、 <u>充実してよかった。ゲームを多くしたのもよかった。</u>		1	○	
○内容はまじめで充実したものであった。 <u>試合中心で楽しかった</u>		4	○	
○大学の体育のわりに <u>充実して満足。実力はのびなかったが、それなりに努力したので自己満足</u>		1	○	△
○授業は厳しかったが、 <u>充実感があってよかった。</u>		3	○	
○暑くてしんどかったが、 <u>内容は充実してよかった。もっとうまくなりたかった。</u>		3	○	△
○暑い時ムンムンする体育館でするのはだるい。しかし <u>100分間十分に汗を流す快さにはかえられない</u>		1	○	
○好きで選んだ種目であるし楽しかったが、 <u>授業は充実しすぎて満足とえらかった。</u>		1	○	×
○好きで選んだ種目で、 <u>苦ではなかったが、かなりハードだし時間いっぱいするのでイライラした。</u>		1	○	×
○ <u>班ごとに協力してやった時感動</u> だった。 <u>汗びっしょりになって勝った時など皆が一つになった感じ</u> がした。		1	○	
○練習も試合も楽しかった。 <u>特に私たちのチームは強いチームだったのですごく楽しかった。</u>		1	○	
○好きな種目を、 <u>毎時間できるのはうれしかった。上手になるために内容もしっかり聴いてした。おもしろかった。</u>		1	○	△
○休講無し、 <u>100分バッチリ、でも楽しかった。先生はきびしいがやさしくていい。運動したなあ!</u>		1	○	
○ <u>大満足</u> 文句なし。 <u>もっとやりたかった。</u>		2	○	△
○ <u>バスケットはいい!</u>		1	○	
○ <u>バスケットは青春を感じる</u>		1	○	
○ <u>わりと面白かった。</u>		1	○	
○ <u>楽しかったが少しえらかった</u>		1	○	×
○ <u>えらかった!</u>		1	×	
○ <u>まあまあ面白かったが、この後の部活(無記入)のことを考えて手をぬいてやったこともあった。</u>		1	○	△
		28		

講生の「運動そのもの」に対する姿勢（「好きで選んだ…」、「好きな種目を…」の語にもうかがわれる）の反映とも考えられる。

表 7-1(3) [陸上競技]

第一希望種目	陸上	ソフト ボール	バスケット ボール	バレー ボール	
実際に走ったり動いたり1時間くらいで走り方などの基本をまじめにしてくれたので苦にならなかった。			1		○
もっとハードルとハイジャンプをしたかった。秒を競うのではなく指導の要点を教えてもらよかった。	1				○
わりと面白かった。特にハードル。教師になった時ハイジャンプは役に立つ。先生もすぐきた。もう一度とりたい。	1				○△
念願のハイジャンプができてよかった。先生もやさしかった。何より早目に切りあげてくれたこと。ハイジャンプをも少ししたい。	1				○△
短時間でやってくれたので、それほどえらいと思わなかった。なかなか楽しかった。	1				○
あまり負担にならないようにすすめてくれたのでよかった。				1	○
走るのが遅いので最初はいやだったがまあふつうにやっておればよかったのでまあ楽しかった。				1	○
走るのが遅いではじめはいやだったがやっているうちに面白くなった。内容が充実していた。走ることがたのしくさえた。				1	○
陸上なんてはじめギューと思ったができなくとも責められないのでたのしかった。		1			○
はじめは抵抗感があったが後でたのしくなった。先生もこわく見えたが優しい方だとわかってきた	1				○
内容は、はじめも今も楽しいものではないと思っているが、先生がすぐきてよい方なのでまあまあ楽しめた。		1	1		○
陸上は、大学生がいい年してやるものではないと今も思っているが先生がやさしかったしまあまあ思ったよりつらくなかった。	1				×○
思ったよりつらくなかった				1	×○
ハードルは高くてこわかったが	1				○
運動そのものがダメなので、第一希望でなくともどうってことなかった。まじめにやったつもりだが人間扱いされなくてつらかった		1			×
とてもつらかった苦手だから		1			×
	7	4	2	4	
	17				

## 〔陸上競技〕

この種目を第1志望として選んだ者は、現受講生17名中7名である。文中にも「はじめはいやだったが……」、「大学生がいい年してやるものではないと思っているが……」という抵抗感がみられる。にもかかわらず、大半の者が「楽しかった」、「まあ楽しかった」、「楽しくさえなった」、「わりと面白かった」等、「○」的感情をもって受講している。

「実際に走ったり動いたり1時間ぐらいで……」、「早目に切りあげてくれて……」、「できなくとも責められないので……」、「まあふつうにやればよかったので……」の表現にみられるように、負担（運動のキツさ）の軽さと、「秒を競うのではなく基本から……」、「指導の要点を教えてもらい……」、「ハイジャンプがやれてよかった」、「ハードルをもっとやりたい」の語に現れた「速さを競って走るばかりではない内容（これは、上記の「重くない負担」を出現させているのだが）」、加えて「やさしくて、すてき」な教師の雰囲気絡んで「わりと楽し（面白）かった」といわしめている。

前述のバレーボール、バスケットボールで試合歓迎、基礎敬遠色が濃いのに対し、ここでは、基礎歓迎、試合敬遠（特に競走を敬遠）傾向が強い。

陸上競技は、後述の水泳と同様、個々人の能力が、技術や集団の協力によってカバーされることなく露わになる種目である。能力、特に走る力は、少々練習したところで急には伸びない（と思われている）という性格ももっている。従って、「競い」の結果は、球技のような破乱に富んだものではなく面白味も少ない。

このような内容を予想していた受講生にとって、「要領やテクニックが入りこむ余地があると感じられるハードルやハイジャンプ」、「じっくりと取り組める基礎練習」は意外でもあり、新たな「楽しさ、面白さ」を見出させることになったといえよう。

## 〔水泳〕

この種目は後半期を指導教官が体調をくずして入院、休講が多かった。この休講が、多かった事に関して「ラッキーであった」と受けとる者と、「残念」と思う者と半々に分れる。しかし「ラッキー」と述べている者も、授業に対して

表7-4) [水 泳]

第一希望種目	水 泳	バレー ボール	
<u>各種目別に基本を教えてもらってよかった。</u>	1		○
<u>1時間1種目基礎から指導してくれて勉強になった。休講が多いのもラッキーだった。水泳は好きなのだが水着になるのが恥ずかしい</u>	1		○ △
<u>苦手だったが、指導がわかり易くて授業は楽しかった。</u>	1		○
<u>授業はいいねいよかった。バタフライが泳げるようになったのですよ！先生もすてき、休講続きでラッキーだった</u>	1		○
<u>とても楽しかった、全然苦はなかった。</u>	1		○
<u>水泳は楽しかったが4コマ目なので後のクラブ(剣)がつかった。</u>	1		○ △
<u>楽しかったが疲れが残る。もう少しうまく泳げたらよかった</u>	1		○ △
<u>とても面白かった。友達ができて最高。</u>	1		○
<u>第1希望だったし、先生もすてきで楽しかった。</u>	1		○
<u>授業教は少なかったが、先生が楽しく指導してくれたので楽しかった</u>	1		○
<u>内容は面白かった。休講が多くて楽だった。着替えるのが面倒だったが苦にならなくなった。</u>	1		○△
<u>少しきつかったが、楽しかった。休講が多くて残念</u>	3		○×
<u>水泳そのものは楽しかった。しかし、途中先生が病気休講が多く、たまにあっても今度は自分の体調が悪くて見学、その点でつまらなかった</u>	1		○×
<u>おちこぼれずにすんでよかった、寒い時泳ぐのには閉口したけれど</u>	1		△×
<u>いずれ水泳は必要だし、うまくなって悪いことないし、いい体験だった。めいっばい劣等感を覚えたが</u>	1		○△
<u>50m可泳を目標に(教員試験関係もあって)少しは努力したが結局泳げなかった。休講多と受講生多が原因だと思う(ぶつかったりする)。しかし自分から思い立って、泳ごうと努力した</u>	1		△
<u>ことで自己満足している</u>	1		×△
<u>泳げない私にとってなかなかハードだった。結局泳げなかったのがつらい</u>	1		×△
<u>もっと自由に泳ぎたかった</u>	1		×
<u>休講が多くてとてもよかった。寒いのに泳いでいつもカゼをひき、通院づめだった。</u>	1		○△
	19	3	
	22		



は「内容は面白かった」、「授業はていねいでよかった」と「○」的反応を示しており、全面的休講歓迎者は第1志望をバレーボールに選んでいた者1名のみである。

「○」的反応の主流はここでも「楽しかった、面白かった」であり、「基礎からのていねいな指導」、「楽しい指導」が記述に現れている主な理由である。陸上と同様、試合より基礎練習歓迎傾向が強い。泳げない者にとっては「泳げるようになる事」が第1目標であるから当然であろうが、「好きで得意」とする者も、「自由に泳ぎたかった」という1名を除いては、賛意を示している。

「水着になるのが恥ずかしい、めんどろ」、「泳げない者にはかなりハード、めいっぱい劣等感を覚える」性格をもった種目であるが、全体的に「○」的反応が多いのは、選択理由「A-1(将来にそなえて)」、「F-1(好きだから)」が大半を占めるように、積極的姿勢で臨んだ者が多かった事もあろう。

〔ソフトボール〕

「×」的反応としては「時間が長ければもっと上達したはず」があるのみで、全員が、「楽しかった、面白かった」と述べている。「試合(ゲーム)中心なので」と、試合歓迎が表面に出されているが、「男女キャッチボールも面白く(少しハードだったけれど)」、「むずかしいボールがとれるようになったり……」、「みんな上手になってきて……」の表現から推察できるように基礎練習がなかったわけではない。が、ソフトボールは他の種目に比べる時、「全員が常に、素速く移動する(全員が、ほとんど始めから終わりまで同時に動いている)」ことを要求されることが少なく、基礎的練習内容も(例えばキャッチボール)それ自体が面白い」という性格をもっている。このような種目の性格の上に、「初心者を考慮しての処置」、「のびのびやれた」雰囲気と「やさしく、よい感じ」の教師への好感とが加わって、受講生に積極的姿勢をとらせたと考えられる。

表7-5) [ソフトボール]

発言内容	第一希望種目	ソフト ボール	
<u>女子には未経験者が多いことを考慮しての処置がよく（グルーピング、</u>		1	○
<u>男子をリーダーにする、人数、女子へ新しいグラブ等を）、楽しかった</u>		1	△○
<u>上手にはならなかったが、男女キャッチボールとか試合なども多く、思</u>		1	○
<u>っていたより楽しかった。</u>		1	○
<u>男子とのキャッチボールも面白く、試合ではみんな燃えていたし、楽し</u>		1	○
<u>かった</u>		1	○
<u>好きで選んでいたし、内容もとても面白かった</u>		3	○
<u>ゲーム形式で面白かった</u>		1	○
<u>ゲーム中心なので、楽しくできた。友人も新しくできてよかった。先生</u>		1	○
<u>もやさしかった</u>		1	○
<u>ゲーム中心の内容だったから、あまり小さなことにこだわらずのびのび</u>		1	○
<u>とできておもしろかった。</u>		1	○
<u>ゲーム中心の楽しさもあるが、むずかしいボールがとれるようになった</u>		1	○
<u>り、ゲームに勝ったり、毎週がとても楽しかった</u>		1	○△
<u>楽しかった。フライもとれず三振王だったけど、一生懸命やれてよかった</u>		1	○△
<u>評価を気にしないでのびのびできたのもよい</u>		1	○
<u>面白かったし、緊張せずに授業に臨めてよかった</u>		1	○
<u>みんな最初下手だったが、上手になってきて面白かった</u>		1	○
<u>楽しかった。男女別のグルーピングでのびのびやれた。先生もよかった</u>		1	○
<u>楽しかった。試合も面白かった。先生もやさしかった。男子とのキャッ</u>		1	○
<u>チボールはややハードだったけれど</u>		1	○△
<u>あまりハードでなくてよかった。ホームランが打ちたかった。</u>		1	○
<u>戸外で暑くて少しきつかったが試合は面白かったし、先生もやさし</u>		1	○
<u>かった</u>		1	○△×
<u>楽しかった、先生も感じがよい。上達はしなかったが、時間ももっと長</u>		2	○
<u>ければそれは解消したはず</u>		1	○
<u>楽しかった</u>		1	○
<u>体育が好きだし本当に満足した</u>			
		21	

## 〔テニス〕

この種目は天候に左右される種目である。雨天のばあいは室内での他の運動に切り換えざるを得ない。この年度は特に開講日と雨天が重なることが多く、「テニス」の看板を掲げながら、実際は「トレーニング」が授業内容の大半を占めていた。従って「×」的反応は、「未経験故に、不安を抱いていた者」を除

表7-(6) [テニス]

第一希望種目	テニス	バレーボール	満足+ 不満-
○テニスの経験が無いので不安だったが、 <u>トレーニングが主でテニスは少なかったので安心した。トレーニングのおかげで、自分が毎回たくましくなっていくような気がした。</u>		1	○
○ <u>実際テニスをしたのは少なかったが、体力がついてよかった</u>	2		×○
○テニスが上達したくて選んだのに <u>トレーニングばかりでがっかりした。しかし<u>苦しい事を終えた後の充実感</u>はあった</u>	3		×○
○ <u>トレーニングばかりでテニスは上達しなかったし苦しかったが、<u>友達</u>がふえて<u>けっこう楽しかった。</u></u>		1	×○
○ <u>テニスの正しいフォームを身につけたかったのに！<u>もう1回</u>とりたい。</u>	1		×△
○テニスというより <u>トレーニング</u> <u>だまされたみたいだ。</u> しかし <u>自分の運動不足を痛感し反省するよい場にはなった。</u>	1		×○
○ <u>テニス</u> がしたかったのに、 <u>不満</u> である。しかし後で考えると <u>ハードなものをこなした自分に満足しないこともない</u>	1		×○
○ <u>雨天</u> 続きで仕方がなかったとはいえ、 <u>やっぱりテニス</u> がしたかった。しかし <u>トレーニングのおかげで3kgやせた事は嬉しい</u>	1		×○
○ <u>ラケット</u> を握らせてもらったのは <u>わずか3回！</u> <u>トレーニングコース</u> を選んだのではない！	13	1	×
○ <u>テニス</u> は <u>ちっとも上達</u> しなかった。 <u>大不満</u> 。2度ととるまいと思った。	1		×
	23	3	
	26		

いて、この「テニス不足」に集中している。しかし、26名中10名が、何らかの形で「○」的意義を見出そうと努力している。「体力がついた」、「苦しい事をこなした自分への満足」、「運動不足自己反省」、「やせた」、「友達がふえた」等であり、ある種のたくましさ、積極的生活態度がうかがわれる。

[ハンドボール]

第1志望が、バレーボール、ソフトボールであり、人員整理によってまわされて来た者が、はじめからの志望者を上まわるメンバー構成であるが、ほとんどが「楽しかった」、「面白かった」の「○」的反応を示している。「ゲームが主」、「のびのびした雰囲気」、「きつすぎない内容」、「先生の面白さ」、「友人ができ

表7-7) [ハンドボール]

第一希望種目	ハンドボール	ソフトボール	バレーボール	
○ゲームが主だったので楽しかった。 <u>グルーピングの仕方</u> もよくやる気が出た。 <u>友人</u> もできた	2		1	○
○ゲームが多く、 <u>先生</u> も面白くてよかった。 <u>楽しかった</u> 。			1	○
○ウォームアップはきつくていやだったが <u>試合</u> が多く面白かった。 <u>先生</u> もよい			2	×○
○少きつかったが、 <u>グラス</u> の雰囲気もよく、 <u>先生</u> も面白く楽しかった。 <u>マラソン</u> には参った。	1		1	×○
○ハンドボールは好きではなかったが、 <u>授業内容</u> も充実しており、 <u>先生</u> の人格が面白く、 <u>雰囲気</u> もよかった			1	○
○ <u>先生</u> が非常にやさしく、 <u>休講</u> も程々。 <u>授業内容</u> もきつすぎずやすすぎず丁度よい			1	○
○楽しかった。 <u>元々</u> 好きだったし、 <u>雰囲気</u> も先生も気に入った。	1		2	○
○楽しかった。 <u>体力向上</u> など望んでいなかったし、 <u>しんどく</u> なくてよかった。 <u>もう少し上達</u> を狙ってもよかった。	1			○△
○初心者で不安だったが、 <u>先生</u> の方針が「 <u>細かい点にこだわらずのびのびやれ</u> 」だったので気軽だった。			1	○
○よかった <u>大変面白かった</u> 。	2		1	○
○わりと面白かった		1		○
○色々な種目をやれば後で役立つだろうと思って <u>がんばった</u>			1	△
○ <u>先生の性格</u> が変っている。 <u>先生</u> がキーパーをしている時、 <u>シュート</u> をきめると、 <u>不可にする</u> といって怒る	1			△
	8	1	12	
	21			

た」等が、「楽しさ、面白さ」の起因するところであることは他の球技と同様である。

以上概括すると

- ほとんどの者が「○」的反応を示している。
- 球技においては「試合中心を」、陸上競技、水泳においては「ていねいな基礎

練習から」を望み、いわゆる「楽な」運動内容を歓迎する傾向が、やや強い。

- 少数ではあるが、「大学の授業にしてはまじめ」、「時間一杯行うのでイライラ」、「先生は冗談一つきかない」、「先生がやさしい、面白い、感じがよい」、「気楽な雰囲気」等の発言が各種目に渡ってみられる。「体育の授業をあそびの場」、「教師はサービス提供者」の考えが底辺にうかがえるが、反面、テニスにおける「裏切られた期待を、意義転換によって自己を満足させようとする努力」や、バスケットにおける「汗讚美」、「一体感」、ソフトボールにおける「みんなが上達するよろこび」にみられるように、「運動自体の価値」、「体育する意義」を身心で把握していないわけではない。

#### IV ま と め

今回の調査による女子学生の運動志向は、次のようにまとめられる。

- 1) 運動好度は「種目や雰囲気にもよるが、嫌いではない」層が最も多い。「好きな方」・「好き」を加えると80%を越え、大半の者が運動を好んでいる傾向がみられた。
- 2) 「クラブに入ってまで技能を高めたい」層、「感情的にはきらいでないがオックウな」層、「楽しみながら人間関係を深めたい」層がほぼ同数であり、各々20%強を占めている。
- 3) 運動種目選択理由は「慣れ親しんだもの」と「未経験なるが故にやってみたい」の相反する所に集まっている。もちろん「好き、やりたい」が最も多いが、これは殆ど上記の「慣れ」、「未経験」と重複して記述されており、同じ「好き、やりたい」も「無難な範囲で行動していきたい」層と「色々な種目を数多く経験したい」層で構成されていることがうかがわれる。
- 4) 各種目において少数ながら「明らかに不快・否定・不満」的気分を抱いて受講していた者が存在するが、殆どの者が「楽しい、面白い」と「快、肯定、満足」的感をもって受講している。特にテニスにおいては「不快な条件下での運動活動を、自己の内部で何とか意義を見出し、快的気分転換させようとする努力が認められた。

以上の事を考えあわせると、本学教育学部1年の女子学生は、最初予想して

いたほど、運動を嫌ってはいない。しかし、授業のような、必須の条件下に追いこまれるか、誰かがお膳立てしてくれないと仲々腰があがらない、という傾向もみられ、あまり楽観してはられない状態にあるといえよう。

### あとがき

全く統計的处理をほどこさないままの考察であった。考察自体も綿密であったとはいえない。この調査を踏み台として、もう少し質の高い研究を行いたいと思っている。

### 資料1

#### 女子学生の運動志向についての調査

この調査は、あなた方 お若い女性が、運動について どんな思いを抱いておられるか 知りたくて行うものです。もちろん 体育の成績には 何ちゃ関係ありません。思っていることを のびのびと書いて下さい。

例えばI-4の項目で「ちょっと かっこいいし、今はやりだし、何より室内だから 陽にやけないだろうと思ったから」etc……ザックバランに書いて下さればよいのです。では よろしく お願いします。

( )学部 ( )学年 昭和( )年( )月( )日生  
専攻学科( ) 研究室名( )

I まず 前期に受講した種目について うかがいます

- 1 あなたが 受講した種目を どうぞ ( )
- 2 それは、最初に希望したものでしたか?  
( はい いいえ ) (○をつけて下さい)
- 3 2で「いいえ」と答えた方へ  
最初に希望した種目は 何でしたか? ( )

## 4 再び 皆さんへ

最初に 第1の希望として 選んだ種目に関して、何故 それを選んだのか？ その理由を 聴かせて下さいナ

## 5 第何番目の選択であったにせよ 実際に受講してみた種目・授業について、感想を漏らして下さいナ

例えば「初めから好きで選んだ種目だったし、授業の内容も 充実していて、満足。これが もっと 上手になりたいと思うけど、……」とか「運動は 薬のようなものだと思っているから 仕方なしに やっている、第1希望ではあったけれど、たいして楽しいとも思わなかった。……」とか（この例に あげた文章に コダワラナイで下さいヨ、先に言ったように、思ったまますを ネ！）

## II 次に 後期の受講に関して お聴きします

- 1 あなたが最初に希望した種目を どうぞ ( )
- 2 今 受けている種目を どうぞ ( )
- 3 最初に希望した種目を選んだ理由は 前期の時と同じですか？  
( はい いいえ ) (○をどうぞ)
- 4 3で「いいえ」と答えた方 その理由を聴かせてくれませんか
- 5 今 受けている種目に関して 自身の 受講意欲・態度を漏らしてくれませんか？ (○を どうぞ)
  - 1) 実に楽しい、限られた時間だけれど、精一杯頑張って、自分の技のうを 伸ばしたい
  - 2) 第1志望ではなかったし、少し厳しいけれど、トニカク努力してみようと思っている 何とか ついていけないこともないし……
  - 3) しょうがないや ま、出席してれば 単位は何とかなるだろうし……
  - 4) 憂ウツ！ 何で自分の とりたいもんが とれないん？（ここには 色々な思いがあると考えられます、例えば、「私は○○部に入っている、少しでも練習の機会を持ちたくて選んだのに」とか、「またシンドイのが 当たっちゃって！運が悪いなあ」とか、 ですから、ここに○をつけた

方は、その内面的思い をつけ加えて書いて下さると有難いんですがネ)

- 5) はやく この後期が終わらないかなあ!
- 6) その他

### III 最後は、運動一般について のおたずねです

#### 1 運動は お好き? (○を どうぞ)

- 1) イエース・オブコース
- 2) う〜ん まあ 好きな方ネ 何をやっても あんまり苦痛感はないも  
んネエ
- 3) イエスと言うべきか ノウと言うべきか ザット イズ クエスチョ  
ン 種目にもよるし、雰囲気にもよるしイ……
- 4) 好きとは いえないネエ デモ たまあに 面白いと思うことも  
ないでは ないけれど……
- 5) ヤだねエ——ッ 何で運動なんてもンが 世の中に有るんだろう?!  
あんなもんやる人の気が知れないヨ!

#### 2 もう少し「好き」、あるいは「きらい」の度合いを 聴かせて下さい (○ をどうぞ)

- 1) ( ) クラブに入っている。もちろん運動全般が好き、入部している  
種目については、上手くもなりたいし、努力もしている。同じ経験度同  
志なら 負けたくない、自分の最善は 尽くしてるつもり。
- 2) 一応クラブには入ってるけど……オ もちろん 運動は嫌いじゃない  
んだ ただ「強くなろう」「強くならねばならない」っていう クラブの  
あり方に疑問を抱いているんでネ 好きな者同士が集まって運動その  
ものを 楽しむっていう活動一技術の向上とか何とかは 別として一っ  
てのが あってもいいんじゃない? そんな気分で クラブには あん  
まり熱心じゃないんだ……
- 3) 感情的にはキライではないんだけど なにせ おっくうなんだなあ  
こんなことしているうちに ホンマモンの 体育ギライになるンじゃな  
いか とは 心配してるんだが……



4) その他

どうも有難うございました。また いつか 似たようなアンケートへのご協力を お願いするかもしれませんが その節はまたまたまた よろしく お願い 致します。

コノアト ナンデモ書キタイコトラ カキナグッテオイテ下サイ

(調査者・出歯カメ責任者 岸 純子)

おことわり 質問文章 いかにも ふざけていましたネ でも おこたえは  
まじめに おねがいしますよ